

千葉県下の精神科医に対する産業保健活動支援の在り方に関する調査 —5年前の調査結果との比較を中心に—

主任研究者 千葉産業保健推進センター 産業保健相談員 本吉 光隆
 共同研究者 千葉産業保健推進センター 所長 能川 浩二
 千葉産業保健推進センター 産業保健相談員 諏訪園 靖
 千葉大学大学院環境労働衛生学 助教 土地 実礼

1 はじめに

メンタルヘルス対策は産業保健における最重要課題の一つである。当センターでは平成16年度に、精神科専門医の産業保健に対する関心と活動状況についての調査を行い、精神科専門医、産業医、労務担当者ともメンタルヘルス問題に苦慮していること、協力関係を望む意見が強いことが明らかになった。本調査では、メンタルヘルス対策の基盤となる精神科専門医と産業医の連携を構築するために重要な要因を明らかにするとともに、当センターの果たすべき役割を知ることを目的とし、精神科専門医の診療の実態、指針の普及度、事業所スタッフとの連携の実情などについて5年前の調査結果と比較することとした。

2 対象および方法

千葉県下の精神科専門クリニック70施設、精神科専門病院43施設に所属する精神科専門医を対象とし、各精神科専門病院へは3枚、クリニックへは1枚ずつ調査票を配布し、精神科医の回答を依頼した。

調査内容は、精神科専門医に対し、施設の種類と規模、産業医資格の有無、患者の病状や治療内容に関しての産業医への情報提供、患者の復職時の対応、事業所の産業保健スタッフとの連携などを取り上げて調査した。

3 結果と考察

平成21年度に記入を依頼した調査票は199枚であり、調査対象の精神科専門医は199名であった。そのうち、68名から回答が得られ、結果として回収率は34.2%であった。前回の回収結果は精神科医163名、回収率45.1%であった。

対象者が勤務する施設の種類については、今

回は無床診療所に勤務する割合が49%と最も多く、次いで200～299床と300床以上の精神病院が20%弱であった。

図1 職域におけるメンタルヘルス問題への関心

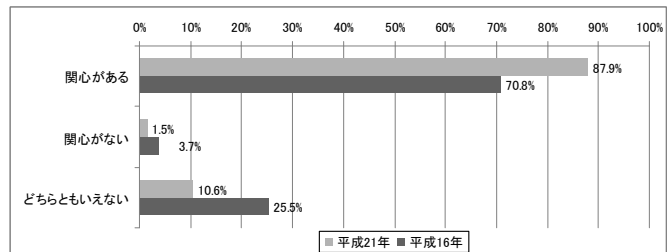


図2 厚生労働省「労働者の心の健康づくりのための指針」の周知状況

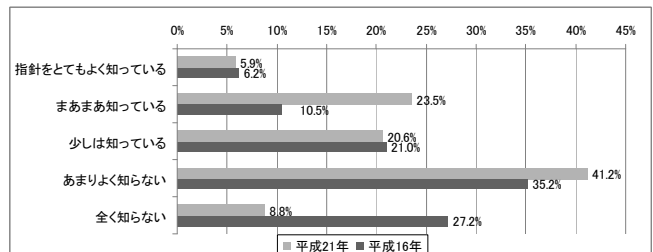


図3 人事担当者への情報提供についての相談

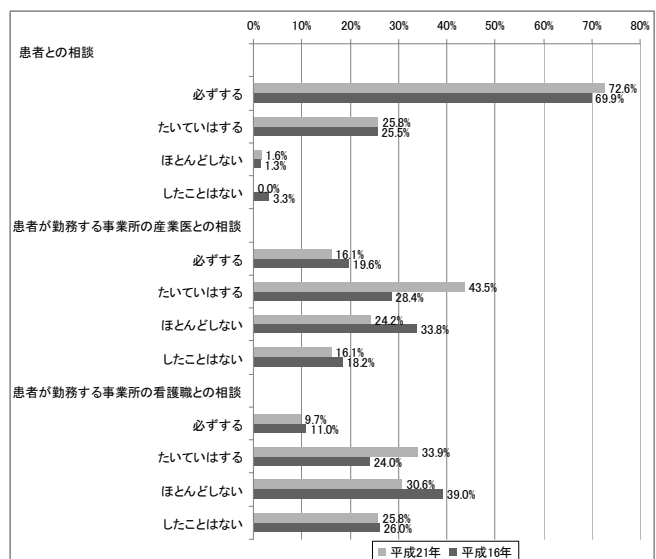


図 4 産業医からの診療情報提供依頼への対応

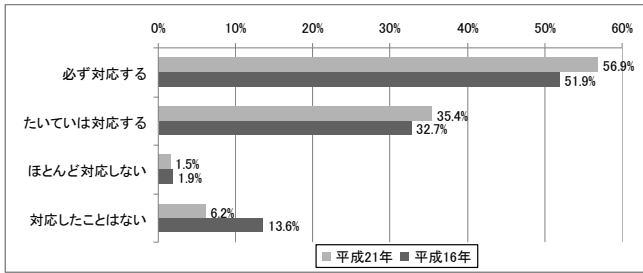


図 5 復職時に好ましい担当者(複数回答可)

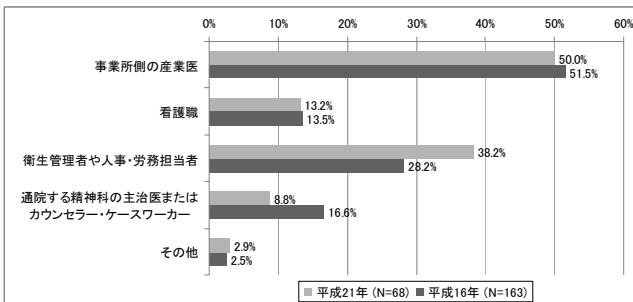


図 6 事業所側との連携状況

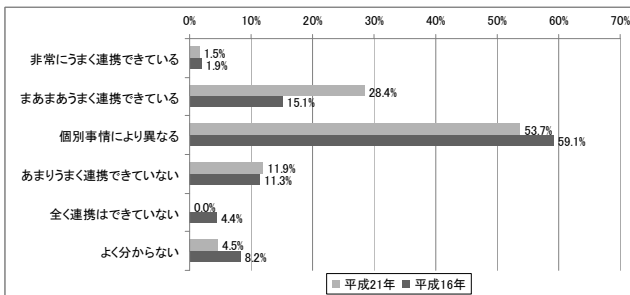


図 7 勤務先に内密に受診する割合

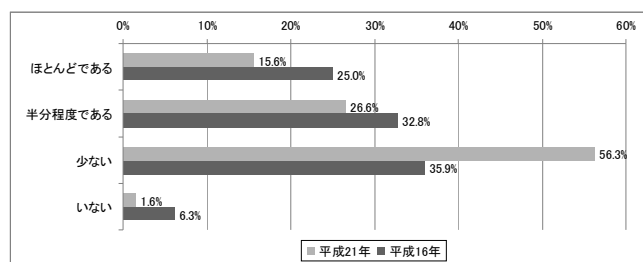
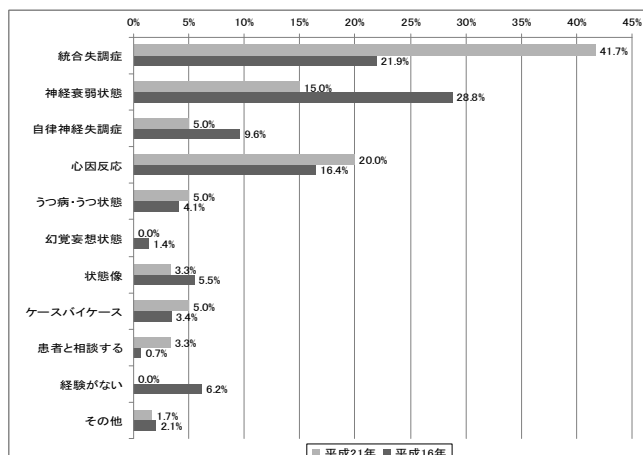


図 8 会社への診断書の病名(特に統合失調症)



4 結論

今回の調査で、職域におけるメンタルヘルス問題に関心がある、との回答や、「事業所における労働者の心の健康づくりのための指針について」を知っているとの回答は増加しており、精神科の臨床の現場でも労働者のメンタルヘルスの問題が注目されつつあることが推察される。

産業保健スタッフと精神科専門医の連携については、産業保健スタッフと報告内容についての相談をする割合も増加しており、産業医に対して情報提供するとの回答も、かなり高い。また、復職時に好ましい担当者としては、「産業医」「看護師・保健師」など産業保健スタッフを上げている回答は今回も多く、産業保健スタッフとの連携が徐々に進展していることが示唆された。また、「衛生管理者や人事・労務担当者」をあげた回答も増加しており、中小企業などにおいては、事業所の状況とともに、メンタルヘルス問題に関する知識と経験のある、衛生管理者や人事・労務担当者に期待していることが推測される。一方事業所側との連携状況について、「個別事情により異なる」という回答が約 5 割と最も多く、事例や担当する産業保健スタッフによって問題解決の状況に差異があることが予想された。

また、従業員にとり非常に重要である、雇用に関連して、勤務先に内密に受診する割合については今回低下していた。また精神科専門医の事業所への診断書の病名については、統合失調症の場合にそのまま「統合失調症」とする回答が倍増し、逆に「神経衰弱状態」との回答は、半減していた。以前は統合失調症との病名について慎重であったと推測されるが、現在は、会社でのメンタルヘルス関連の意識の変革や受け入れが進み、正確な診断を記載することで、事業所側の産業医等産業保健スタッフとの連携が円滑になり、事業所における患者への不利益への懸念が減少しつつあることが考えられた。本調査では、精神科専門医の状況の推移について、把握することが出来、また今後の事業所との有効な連携を図るために、基本的な情報が得られたと考える。